

～子どもの「やってみたい」を育む  
さわやかな5月の風とともに新緑が美しい  
季節となりました。

入園、進級から1カ月、子どもたちは新しい  
環境を自分の中にどう取り入れようかと試行  
錯誤した日々でもあったように思いますが、新  
入園児さんも初めての先生や友だち、保育室の  
環境、保育園での生活の仕方に少しずつ慣れ、  
涙が出ることも少なくなってきました。担任の  
保育者との関係もでき始め、いっしょにいると  
安心し快い表情を見せています。

それぞれの保育室に目をやりますと、乳児の  
保育室では0・1・2歳児の子どもたちがいっ  
しょに遊んだり生活をしています。ハイハイで  
あちらこちら探索する0歳児、トコトコと歩  
行もしっかりしてきた1歳児、走り回ることも  
楽しい2歳児、月齢とともに動きもずいぶ  
んちがうので、そばにいる保育者は片時も目を  
離せません。子どもたちは毎日「これが好き」  
「ここが好き」と、お気に入りのおもちゃを見  
つけたり、ダンボールや三角鏡の中に入ったり  
しながら日々いろいろなことを発見し、驚きや  
心の動きを「見て見て」と言わんばかりに私た  
ち大人に伝えてくれます。目を合わせ言葉を添  
え、うなずくと安心する子どもたち。子どもた  
ちの声をていねいに聞き、ていねいに返してい  
くことが気持ちの安定とともに言葉の発達や  
人と関わる力につながるものと考えます。

また同時に「同じことがしたい」「同じ物がいい」と、物の取り合いやトラブルも多く見られる年齢でもあります。一見、良くない行

動と思われがちですが、この友だちとの  
関わりの第一歩を踏み出す大切な行動を見守  
り一人ひとりが満足できるよう言葉がけの工  
夫や関わりを心がけていきたいと思えます。

一方、幼児の保育室では、いちばん大きい組  
になったという自信満々の年長児が、新入園児  
や小さい友だちのことが気になり、持ち物の始  
末を手伝ってあげたり、小さい子のペースに合  
わせて動いたり先輩らしさが生活の中に見  
え始めリーダー的存在になりつつあります。  
先日のこと保育園での生活経験のある年中、年  
長児は散歩の途中、こいのぼりを見つけ「先生、  
保育園でもこいのぼり作ろうや」と言い始めま  
した。たまたま地域の方からいただいた白い布  
があり、染めてみたのですが、色が変なことを  
不思議に思った子どもたち。こいのぼり作り  
も楽しみながら“色が変な”ことへの興味を  
持ち始めました。これから子どもたちといっし  
ょに“色が変な”遊びがどのように広がって  
いくのだろうと思うと、大人の私たちもわくわ  
くしてきます。

保育を進めていく中で、大人の考えを押し通  
すのではなく、子どもたちの発見や驚き、思い  
に寄りそい、子どもたちの提案に耳を傾け『も  
っとやりたい』という気持ちを引き出し、主体  
的・対話的で深い学びの実現をめざしていきた  
いと思えます。

長いお休みに入りますが、連休を楽しく事故  
のないように過ごされ、笑顔で元気に登園して  
きてくださいね。

園長 舛野裕子

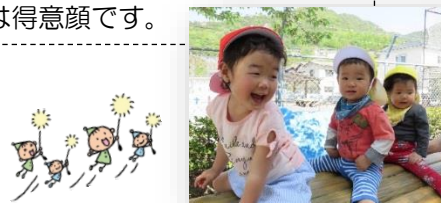
### お 願 い

気候も良くなり、戸外で動くと汗  
ばむようになってきました。

保育園に置いている衣類の交  
換や、午睡用の掛け布団を薄手の  
物に交換をお願いします。

#### 異年齢の中であこがれ そしてたくましく

「やったあ」上ったよ！  
大きい友だちと同じように丸  
太のトンネルの上に乗った（上  
らせてもらった）年少児、乳児  
は得意顔です。



### こどもの日（5月5日）

こどもの日は、子どもたちの健やかな成  
長を願う日です。別名「端午の節句」とい  
うので、男の子の日というイメージもあり  
ますが、本来は男の子も女の子も子どもた  
ちみんなが無事に過ごせるよう、季節の節  
目に邪気払いをする行事です。

家族みんなで幸せを願う文化を楽しん  
で親子の絆を深めましょう。

**こいのぼり** 滝のぼりをする鯉のいきお  
いに、男の子の成長を重ねて  
います。

**かしわもち** 柏の親葉はかかれても新芽が  
育つまで落ちないことから  
「親が子の無事を願う気持ち」  
に通じるといわれています。

**菖蒲（しょうぶ）** 菖蒲の香りや薬草としての  
働きが、災いや病気をはらう  
としてお風呂に菖蒲を浮か  
べます。

### ～誕生日おめでとう～

保育園では毎月1回誕生日会があります。

誕生日の子どもは、みんなの友だちの前で自分の名前や年齢を言うので  
すが、緊張したり照れくさそうだったりします。

でも誕生日はやはり特別の日で、みんなからお祝いしてもらい、嬉しそう得意顔です。

お家の人からメッセージもいただいておりますが、子どもさんの成長をふり返られたり、元気で大きくなってほしいという親御さんの願いや家族の方々の思いがつつらわれています。

しかし、本当の生命の誕生はその日より10か月も前であることにどれだけの子  
どもや私たち大人が関心を持っているでしょうか。お母さんの胎内で過ごした10  
か月間のこと、家族が楽しみに待った10か月間のこと、そして出産の時のこと  
など子どもさんに語ってあげましょう。そんな心のふれあいは自分自身が大切  
にされ愛されていることを感じ、人の命や心、そして自分自身を大切にできる  
人間になることの基盤になること  
と思います。